

住み慣れた地域で、自分らしい生活を、送るために

台東区

在宅療養支援窓口通信

令和6年3月号

No. 12

在宅療養にお困りの方・訪問診療を考えている方のお手伝いをします

○在宅療養支援窓口の相談事例紹介

<相談内容>



調剤薬局

高齢のご夫婦が、「薬の整理をしてください」と薬をたくさん持ってきました。ご主人はいつも薬をもらいに来る方ですが、奥様は初めての来院で、経過がよく分かりません。どうしたらいいでしょうか。



<在宅療養支援窓口スタッフの支援内容>

薬局に持ってきた薬の中に、地域包括支援センターの用紙が入っており、確認の連絡をしたところ、他区の病院から退院してきたことが分かりました。入院していた病院は自宅から遠いため、今後は近くの病院を受診するように言われていました。退院時に処方された薬はたくさんあり、入院中は看護師が薬の管理をしていたため、ご夫婦で困っていました。

まずはかかりつけ医を決めることを提案し、近くの医療機関を受診しました。受診後、薬局に相談したところ、薬剤師が自宅に訪問し、薬を整理してくれました。ご本人が慣れた容器に薬をセットしてもらい、きちんと内服ができるようになり、ご夫婦の不安はなくなりました。

<ご夫婦の反応>

薬剤師さんが家に来てくれ、長年使ってきた容器に薬をセットしてくれるようになり、本当に良かったです。かかりつけ医にも相談して、薬はなるべく1つの袋にまとめてもらいました。薬剤師さんが家に来てくれるなんて知りませんでした。相談もしやすく、安心しています。

かかりつけ薬局を持ちましょう



日本薬剤師会ホームページより

薬を1つの薬局でまとめて管理すると、複数の医療機関から同じ薬が処方されていることに気づいたり、相互作用(注意を要する飲み合わせ)が起きるのを防ぐことができます。

また、薬局では、処方箋による調剤だけでなく、市販薬や健康食品の取り扱い、介護関連商品の相談なども行っています。たとえば、風邪のひきはじめや発熱した時に、薬剤師が症状に合わせて適切な市販薬を選ぶお手伝いをしたり、医療機関への受診をおすすめすることもあります。

かかりつけ薬剤師がいると、1人の薬剤師があなたの薬の情報などを把握し、治療をサポート！

普段から薬や健康のことを気軽に相談できる薬剤師がいれば安心です。かかりつけ薬剤師は、皆さんがこれまでに使用してきた薬のこと、現在お使いの薬や健康食品のことなどを把握して、薬による治療がより効果的なものになるようお手伝いします。



台東区在宅療養支援窓口 電話:03-5603-0235

